

中宮中だより

No.12

平成29年(2017年)12月22日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

<終業式・・・新しい年、新しい学期に向けて>

○1, 2年生のみなさんへ

生徒会本部役員も交代し、いよいよ学校づくりの主役が3年生から2年生へとバトンタッチされた2学期でした。また1年生はあと3ヶ月で「先輩」となります。みなさんもそうだったように、新しい1年生は先輩の背中を見て成長していきます。

2年生も1年生も、これまで3年生が創り上げてきたこの中宮中学校を引き継ぎ、さらにすばらしい学校にしていく責任を負うことになります。

各クラス、各学年で2学期の反省をしっかりとしたいと思います。数々の失敗もあったことでしょう。でも失敗することは誰にでもあるし、そもそも学校は失敗することから学び、1歩ずつ成長していくための場所なのです。

失敗をいつまでも悔やむ必要はありません。大切なことは、同じ失敗を繰り返さないということです。みなさんの今後のさらなる成長を大いに期待しています。

○3年生のみなさんへ

さて、いよいよ自分の進路を決定しなければならない時期がやってきました。おそらく、みなさんの多くは、自分の希望する高校に受かるか受からないかということが一番気になっていることでしょう。もちろん、現実としてそのことは大切なことには違いありませんし、懇談の話題もそれが中心になっただろうと思います。

しかし、言うまでもなく「進路」は「行き先」だけの問題ではありません。大切なことは、そこへ行って自分は何をするのか、どんな生活をするのか、そしてそれをその先の将来へとどうつなげるのかということなのです。

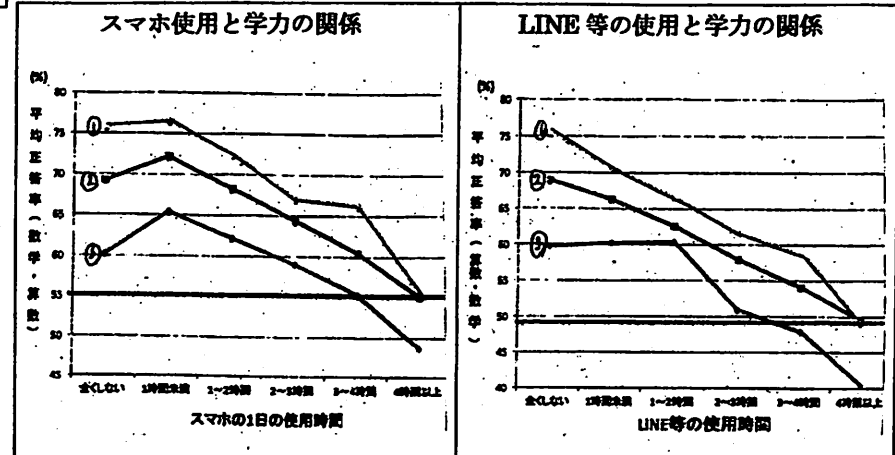
例えば、高校の評判やランクや偏差値などは、自分の「生き方」には本来関係ないのです。そんなもので自分の価値や将来は決まりません。それを決めるのは自分自身の意志と努力なのです。そこへ行って自分がどう生活し、どう生きるのか・・・

冬休み、自分の中学校卒業後の姿を頭に描き、そして今やるべきことに全力で取り組んでください。しんどいかもしれません。でも大丈夫。クラスや学年の仲間もみんな同じ立場です。きっと支え合えるはずですから。

*さて、冬休みに向けて、ひとつみんなに伝えておきたい事があります。生徒集会等でもよく話題にしている、SNSのお話です。➤

～スマホが及ぼす脳への影響～

先日、ある研修会に参加したのですが、そこで「子どもの発達を支える生活習慣と脳の形」というテーマで大学の先生の講演を聴きました。お話の中身は主に「スマホ・ライン・ゲーム」と「学力」の関係についてだったので、冬休みを控えたみなさんにも紹介しておこうと思います。下のグラフを見てください。(講演会資料より)



*横軸：使用時間 縦軸：ある市の標準学力調査の平均正答率

*グラフ①勉強時間2時間以上の人 ②30分～2時間の人 ③30分未満の人

このグラフから以下のことが読み取れます。

○スマホ、LINEの使用時間が長いほど成績が低い

○勉強時間の長さに関係なく影響が出ている。

○長い時間勉強してもスマホ、LINEを長時間やると意味がない。

つまり、スマホ等の使用時間が長い分、勉強時間が少なくなるから学力が落ちるといような単純なことではなく、もっと根本的にスマホ、LINE等の使用そのものが、「脳の働き・発達」に悪影響を与えている可能性が高いということが言えるそうです。詳しくはまだ研究途上ですが、少なくとも、使用を短時間に抑えるルール作りをし、きちんとそれを守ることが、みんなにとっても必要なことだと思います。

★最後に

いろいろ書きましたが、何より大切なものは、一人ひとりの「命」です。みんなの元気が一番です。休み中、交通事故等に気を付け、健康に留意して、3学期、また元気にスタートしましょう!! 始業式は1月9日(火)です。

(裏面に付録があります)

(付録) やってみよう!! <RST:「リーディングスキルテスト」>

先日の生徒集会で、久保先生からお話があった「リーディングスキルテスト」、覚えていますか?日本語の文章を読み解く簡単な?テストです。生徒集会でも例題が出題されましたね。正解しましたか?このテストの出題文章は、中学校や高校の教科書等の説明文から引用されたものです。教科書の文章ですから、出来るだけやさしく基本的な日本語で書かれているはずですが、しかし、実際には、その教科書に書かれている基本的な文章も正しく読み取れていない中高生がけっこういるのではないかと今言われています。なぜなら、全国学力調査や入学試験で問題文の意味がわかっていないとしか思えない回答が増えているからです。

国語はもちろんのこと、社会や理科、数学でも、説明文や問題文は日本語で示されています。英語ですら、日本語を母国語とする人にとっては、正しく日本語が使えないと英語の力もつかないと言われています。

ここにいくつか例題を掲載しました。よければやってみてください。(「リーディングスキルテストの実例と結果」・「東京百舌」より)

<p>(1)「幕府は1639年、ポルトガル人は追放し、大名には沿岸の警備を命じた。」 上の文が表す内容と次の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから選びなさい。 「1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。」 「同じである」 「異なる」</p>	<p>(2)「仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、中央アジア、東南アジアにおもに広がっている。」 オセアニアに広がっているのは()である。 ()にあてはまる語句を入れよ。</p>	<p>(3) Alexは男性にも女性にも使われる名前、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。 Alexanderの愛称は()である。 (4)「ヨーロッパは日本より相対的に緯度が高いので、夏の昼の時間が長い。」 ヨーロッパの夏の夜の時間は、日本に比べてどうか。</p>
<p>(5)「波形の最も高いところを山、最も低いところを谷と呼ぶ。変位の最大値を振幅といい、波動の大きさを表す。つまり山の高さ(谷の深さ)が振幅である。また、ひとつの山から次の山までの距離、あるいは一つの谷から次の谷までの距離を波長と呼ぶ。」 この文の内容をあらわす図として適当なものを、A~Dまでのうちからすべて選びなさい。 (出典：東京書籍(株)高校物理基礎教科書「新編・物理基礎」)</p>		

★どうでしょうか? (5)は高校の教科書からの引用ですが、説明文が読み取れば正解出来ると思います。正解できなかった問題があった人、わかりにくいと感じた人・・・特別な勉強は必要ありません。ただ、たくさん文章を読むこと。読書すること。教科書を何度も読み返すこと。「Try Japanese」を続けること・・・「文章力」は現在のすべての教科の学習の基本となるものです。日本語の文章力を磨きましょう!!